【表紙】

【提出書類】	臨時報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2020年11月30日
【会社名】	株式会社エルテス
【英訳名】	Eltes Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長　菅原　貴弘
【本店の所在の場所】	東京都千代田区霞が関三丁目２番５号
【電話番号】	０３－６５５０－９２８０（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役コーポレート本部長　松林　篤樹
【最寄りの連絡場所】	東京都千代田区霞が関三丁目２番５号
【電話番号】	０３－６５５０－９２８０（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役コーポレート本部長　松林　篤樹
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町２番１号）

1【提出理由】

当社は、2020年11月30日開催の取締役会において、以下の通り、当社の連結子会社である株式会社エルテスセキュリティインテリジェンス（以下、「ＥＳＩ」という。）が、株式会社アサヒ安全業務社（以下、「アサヒ安全業務社」という。）の全株式を取得し、子会社化することを決定いたしました。このため、金融商品取引法第24条の５第４項及び企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第２項第16号の２の規定に基づき、本臨時報告書を提出するものであります。

2【報告内容】

1．連結子会社による子会社の取得（企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第２項第16号の２に基づく報告内容）

(1) 連結子会社による子会社取得の決定に関する事項

当社は、2020年11月30日開催の取締役会において、以下の連結子会社が子会社を取得することを決議いたしました。

名称	株式会社エルテスセキュリティインテリジェンス
住所	東京都千代田区霞が関三丁目２番５号
代表者の氏名	代表取締役　　菅原　貴弘

(2) 取得対象子会社の概要

①商号、本店の所在地、代表者の氏名、資本金の額、純資産の額、総資産の額及び事業の内容

商号	株式会社アサヒ安全業務社
本店の所在地	神奈川県横浜市旭区二俣川一丁目４番３号
代表者の氏名	代表取締役　　鈴木　一法
資本金の額	10,000千円（2020年4月30日現在）
純資産の額	460,696千円（2020年4月30日現在）※1
総資産の額	592,842千円（2020年4月30日現在）※1、2
事業の内容	列車見張業務、雑踏・交通警備、施設警備・常駐保安警備、ビル清掃業務

※1. 株式譲渡実行予定日の５営業日前までにアサヒ安全業務社は自己株式47株を取得する予定であり、純資産が102,639千円（概算）減少する見込みであります。

※2. アサヒ安全業務社は、子会社４社を保有しておりますが、株式会社S&T OUTCOMESを除く３社につきましては、株式譲渡実行予定日に当社グループ以外へ帳簿価額での売却を予定しております。

②最近３年間に終了した各事業年度の売上高、営業利益、経常利益及び純利益

	2018年４月期	2019年４月期	2020年４月期
売上高	805,550千円	793,052千円	810,823千円
営業利益	55,004千円	42,623千円	75,116千円
経常利益	55,312千円	49,283千円	77,340千円
当期純利益	34,025千円	34,092千円	51,105千円

③提出会社及び当該連結子会社との間の資本関係、人的関係及び取引関係

資本関係	当社及び当該連結子会社と取得対象子会社との間には、記載すべき資本関係はありません。
人的関係	当社及び当該連結子会社と取得対象子会社との間には、記載すべき人的関係はありません。
取引関係	当社及び当該連結子会社と取得対象子会社との間には、記載すべき取引関係はありません。

(3) 取得対象子会社に関する子会社取得の目的

当社は社会のデジタル化に伴って新たに発生するリスクを「デジタルリスク」と定義し、多数の企業に解決策を提示してきました。その一環として、ソーシャルリスクや、情報漏えいや内部不正などの内部脅威リスクの予兆検知や鎮静化対応サービスを提供しております。

他方で、デジタルとリアルの融合が進行しつつある昨今の社会環境下において、総合的なリスクマネジメントを提供するには双方の視点が必要であると考え、リアル領域へのデジタルソリューション提供の検討を重ねてまいりました。

その取り組みの一環として、「伝統的な警備業とデジタルテクノロジーを融合させ、デジタル新時代の新たな警備業を創出し、経済発展と社会的課題の解決を両立する」というビジョンのもと子会社ＥＳＩを設立し、セキュリティ事業のＤＸに向けた取り組みを研究、実証に移してきました。

警備業には３兆円を超えるマーケットが存在する一方、働き手の高齢化や人手不足などの課題を抱えており、デジタル化による業態進化のポテンシャルが極めて大きいと考えられます。

そうしたデジタル新時代の新たな警備業を創出するためには、自社で警備事業を行い検証・開発を実施する必要があると考え、当社の考えに賛同いただける企業との連携を強く模索しておりました。そしてこのたび、連結子会社であるＥＳＩがアサヒ安全業務社の株式を100%取得し、完全子会社化することを決議いたしました。なお、当該取得に伴い、アサヒ安全業務社の完全子会社である株式会社S&T OUTCOMESにつきましても当社の連結子会社となります。

アサヒ安全業務社は、1973年に設立され、大手電鉄会社を始めとした強固な顧客基盤を持ち、鉄道関連工事のおける列車監視業務中心に雑踏・交通誘導、常駐保安警備を提供しています。会社設立以来、蓄積した高度な警備遂行の能力と経験、ノウハウをベースに安心・安全な警備を実践しています。アサヒ安全業務社の警備事業における長年の知見とノウハウに加え、当社グループの保有するリスクデータとＡＩ基盤を中心としたテクノロジーを融合させる事で、デジタルとリアルの両面に対応したデジタル新時代の新たな警備業の創出を実現できると確信しております。

デジタル新時代の新たな警備業の創出は、当社の目指す「健全にテクノロジーが発展する豊かなデジタル社会を守り、デジタル社会にとってなくてはならない存在となること」を実現するための一つのステップです。
お客様や社会がまだ気づいていない、次々と現れるデジタルリスクと戦い続けていくことが、当社グループの価値であり役割です。今後もデジタルリスク領域でイノベーションを起こし続けることができるよう、デジタルリスクの解決に努めてまいります。

(4) 取得対象子会社に関する子会社取得の対価の額

アサヒ安全業務社の普通株式	**600,000千円**
アドバイザリー費用等（概算額）	**50,000千円**
合計（概算額）	**650,000千円**

以上